

Talk 75

デーリー東北 創刊 75 周年

デーリー東北新聞社は22日、八戸市でフォーラム「変革期の高校野球を考える」を開催した。甲子園出場経験のある青森県立八戸高の品田郁夫監督、八学光星高の仲井宗基監督、八戸工大一高の長谷川菊雄監督による座談会を実施。会場には約100人が訪れ、三者三様の意見に熱心に耳を傾けた。【20頁に関連記事】

高校野球の未来は？ 座談会



高校野球に関して、活発な議論が交わされた座談会
22日、デーリー東北ホール

八戸高・品田監督、八学光星高・仲井監督、工大一高・長谷川監督

競技人口、球数制限などテーマ

12月に創刊75周年を迎える本誌が読者に実体験として情報を伝える「トーク75」の第1弾で、本社敷地内のデーリー東北ホールが会場。座談会は本社の木村和彦執行役員青森支社長がコーディネーターを務め、競技人口の減少や球数制限、指導者の質向上などをテーマとした。

3監督はそれぞれ、教え子とのエピソードなどを交えて自らの考えを披露。球数制限の是非を巡っては意見が割れるなど、会場からの質問を含めて活発な議論が交わされた。

座談会に先立ち、仲井監督が講演し、2019年の18歳以下日本代表でヘッドコーチを務めた経験を話した。
フォーラムの詳細は、月刊スポーツマガジン「Dash」3月号(3月19日発行予定)で伝える。

(金濱千優希)